

瀬戸内町告示第31号

財政状況の公表に関する条例(昭和47年瀬戸内町条例43号)第2条の規定により、平成28年度上半期の財政状況を別紙のとおり公表する。

平成28年11月1日

瀬戸内町長 鎌田 愛人



平成28年度 上半期

財政状況の公表

鹿児島県 瀬戸内町

目 次

財政動向及び財政方針	1
1 平成27年度 決算のあらまし	2
(1) 概要	2
(2) 各会計実質収支の状況	2
(3) 一般会計歳入の状況	8
(4) 一般会計歳出の状況	10
(5) 町債の状況	12
2 平成28年度 上半期財政運営のあらまし	13
(1) 予算の規模	13
(2) 予算の執行状況	15
3 町有財産の状況	17

I 財政動向及び財政方針

本町では、町民の皆様には町財政について正しく理解していただくため、町条例に基づき毎年5月1日及び11月1日の2回、財政状況を公表しています。今回は、平成27年度決算及び平成28年度上半期の財政運営を中心に財政状況を公表します。

本町の財政状況は、平成27年度決算において、一般会計は衛生費の増加や商工費と教育費の減少などにより前年度に対し決算総額が減となりました。また、特別会計は前年度に引き続き全会計において赤字決算はありませんでしたが、その内容は一般会計からの多額に上る赤字補てん繰出金による改善です。依然、独立採算の原則に基づく各会計の自立が課題となっています。

このような財政状況の中、本町としましては国や県の動向に注視しながら、町民の皆様が将来にわたり安心して暮らせる町づくりを目指し、産業の振興・交通手段や生活環境の整備・高齢者等の福祉医療の確保・教育文化の振興対策を鋭意進めてきました。

平成28年度上半期の財政状況については、財政基盤が脆弱な状況にある中、歳入に見合った予算規模を堅持し、投資的事業の平準化や規模適正化による総量の維持・縮減や町負担額の最小限に努め、財政需要に応えつつも財政基盤の強化を図ってきました。

今後、大規模な施設建替え事業や、老朽化対策に伴う維持補修などの計画があり、かかる費用は膨大となる見込みですが、長期的視野で計画的に資産再構築に取り組み、財政の悪化を回避するよう努力していきます。

国においても全国的な人口減少対策として「地方創生」に取り組む中で、「一億総活躍社会」の実現に向け、予算の中身を大胆に重点化することとし、要望基礎額の抑制に努めつつ、「新しい日本のための優先課題推進枠」を設け重点配分することとしていますので、今後もさらに町民とともに地理的・歴史的独自性を発揮した魅力ある町づくりを実現するために今何をすべきかを長期的な視点から捉え、限られた財源で最大限の効果をあげていきたいと考えています。

1 平成27年度決算のあらまし

(1) 概 要

平成27年度の各会計決算総額(水道事業を除く)は、歳入総額13,610,167千円に対し、歳出総額12,760,482千円で、差引849,685千円の黒字となりました。また、翌年度に繰り越すべき財源269,245千円を差し引いた実質収支は580,440千円となっています。

(2) 各会計実質収支の状況

1). 一般会計

平成27年度一般会計歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 9,154,453 千円に対し、歳入9,118,892千円、歳出 8,345,535 千円となり、前年度に比べ歳入で 194,081 千円、2.1%の減、歳出で363,375 千円、4.2%の減となりました。

決算収支は、歳入歳出差し引き 773,357 千円の黒字で、翌年度へ繰り越すべき財源 268,979 千円を差し引いた実質収支も 504,378 千円の黒字となっています。また、実質収支額から平成26年度の実質収支額540,226千円を差し引いた平成27年度の単年度収支額は35,848千円の赤字となっています。この単年度収支額に財政調整基金の積立金270,114千円を加え、財政調整基金の取崩額0円を差し引いた、実質単年度収支額は234,266千円の黒字となっています。

(単位：千円)

一 般 会 計							
項 目 年 度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
27年度	9,118,892	8,345,535	773,357		268,979	504,378	△ 35,848
26年度	9,312,973	8,708,910	604,063		63,837	540,226	△ 97,326
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I		実質単年度収支 F+G+H-I
27年度	270,114	0			0		234,266
26年度	334,423	0			191,723		45,374

2). 巡回診療施設特別会計

巡回診療施設特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 264,137千円に対し、歳入253,335千円、歳出251,695千円、差し引き 1,640千円の黒字となっています。

単年度収支については 12,284千円の赤字となっています。

(単位：千円)

巡 回 診 療 施 設 特 別 会 計							
項 目 年 度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
27年度	253,335	251,695	1,640		0	1,640	△ 12,284
26年度	265,146	251,222	13,924		0	13,924	△ 4,683
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I		実質単年度収支 F+G+H-I
27年度	0	0			0		△ 12,284
26年度	0	0			0		△ 4,683

3). 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 1,824,151 千円に対し、歳入 1,790,479 千円、歳出 1,781,486 千円、差し引き 8,993 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支については 11,469 千円の赤字となっています。

次に、国民健康保険直営診療勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 17,345 千円に対し、歳入 16,865 千円、歳出 16,274 千円で、差し引き 591 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支については 4,159 千円の赤字となっています。

(単位：千円)

国民健康保険事業勘定						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰り越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
27年度	1,790,479	1,781,486	8,993	0	8,993	△ 11,469
26年度	1,621,733	1,601,271	20,462	0	20,462	10,124
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
27年度	0	0		0	△ 11,469	
26年度	0	0		0	10,124	

(単位：千円)

国民健康保険直営診療勘定						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰り越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
27年度	16,865	16,274	591	0	591	△ 4,159
26年度	20,758	16,008	4,750	0	4,750	616
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
27年度	0	0		0	△ 4,159	
26年度	0	0		0	616	

4). 介護保険特別会計

介護保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 1,542,101 千円に対し、歳入 1,507,719 千円、歳出 1,468,878 千円、差し引き 38,841 千円の黒字となっています。

単年度収支については 7,402 千円の赤字となっています。

(単位：千円)

介護保険特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
27年度	1,507,719	1,468,878	38,841	0	38,841	△ 7,402
26年度	1,522,963	1,476,720	46,243	0	46,243	6,093
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I	実質単年度収支 F+G+H-I		
27年度	0	0		0	△ 7,402	
26年度	0	0		0	6,093	

5). 後期高齢者医療事業特別会計

平成20年度から設置された後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 112,760 千円に対し、歳入 109,392 千円、歳出 107,559 千円、差し引き 1,833 千円の黒字となっています。単年度収支については 180 千円の赤字となっています。

(単位：千円)

後期高齢者医療事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
27年度	109,392	107,559	1,833	0	1,833	△ 180
26年度	112,866	110,853	2,013	0	2,013	409
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I	実質単年度収支 F+G+H-I		
27年度	0	0		0	△ 180	
26年度	0	0		0	409	

6). 屠畜場事業特別会計

屠畜場事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 2,089 千円に対し、歳入・歳出同額の 1,948 千円となっています。歳出の主なものは、総務管理費の賃金や営業費の中の需用費等(電気料・水道料・修繕費・燃料費)です。

(単位：千円)

屠畜場事業特別会計							
項目 年度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
			A-B	C			
27年度	1,948	1,948	0	0	0	0	0
26年度	1,868	1,868	0	0	0	0	0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
27年度	0	0	0		0		
26年度	0	0	0		0		

7). 船舶交通事業特別会計

船舶交通事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 557,176 千円に対し、歳入 551,112 千円、歳出 532,514 千円、差し引き 18,598 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支では 18,401 千円の黒字となっています。

単年度収支については 1,880 千円の赤字となっています。

歳出の主なものは、総務管理費として 26,575 千円、せとなみ費として 93,206 千円、フェリーボート費として 110,982 千円、公債費として 1,029 千円となっています。歳入では、せとなみ・フェリーボート運航収入として 137,045 千円、国・県補助金として 145,665 千円、その他収入等 268,402 千円となっています。

(単位：千円)

船舶交通事業特別会計							
項目 年度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
			A-B	C			
27年度	551,112	532,514	18,598	197	18,401	△ 1,880	
26年度	274,693	254,412	20,281	0	20,281	8,423	
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
27年度	0	0	0		△ 1,880		
26年度	0	0	0		8,423		

8). 古仁屋港上屋事業特別会計

古仁屋港上屋事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 2,656 千円に対し、歳入 2,655 千円、歳出 2,488 千円、差し引き 167千円の黒字となっています。黒字の主な要因は、上屋使用料、諸収入及び繰越金によるものです。なお、単年度収支については483千円の赤字となっています。

(単位：千円)

古仁屋港上屋事業特別会計									
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源		実質収支		単年度収支
	A	B	A-B	C	D	E	F		
27年度	2,655	2,488	167		0	167		△ 483	
26年度	3,095	2,445	650		0	650		△ 440	
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I				
27年度	0	0	0		△ 483				
26年度	0	0	0		△ 440				

9). 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 24,857 千円に対し、歳入 24,907 千円、歳出 22,348 千円で、差し引き 2,559 千円の黒字となっています。翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。主な要因は、繰越金の増、公債費の減のほか、経営健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものです。

(単位：千円)

農業集落排水事業特別会計									
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源		実質収支		単年度収支
	A	B	A-B	C	D	E	F		
27年度	24,907	22,348	2,559		0	2,559		344	
26年度	21,055	18,840	2,215		0	2,215		210	
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I				
27年度	0	0	0		344				
26年度	0	0	0		210				

10). 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 269,885 千円に対し、歳入 232,863 千円、歳出 229,757 千円となり、差し引き 3,106 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は 3,037 千円の黒字となっています。なお、単年度収支については 11,793 千円の赤字となっています。

(単位：千円)

簡易水道事業特別会計								
年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
	A	B	A-B	C		C-D	E	
27年度	232,863	229,757	3,106		69	3,037		△ 11,793
26年度	308,797	293,967	14,830		0	14,830		1,497
年度	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I		
	G	H				F+G+H-I		
27年度	0	0			0	△ 11,793		
26年度	0	0			0	1,497		

11). 水道事業会計

水道事業会計の収益的収支の決算額は、収入予算額 166,999 千円に対し決算額 159,947 千円、支出予算額 141,447 千円に対し決算額 129,300 千円となり、差し引き 30,647 千円の当年度純損失が生じていますが、損益計算書での当年度純損失 30,539 千円との差額 108 千円は、消費税相当分です。

一方、資本的収支においては、収入予算額 1 千円に対し決算額 0 千円、支出については、予算額 56,695 千円に対し決算額 36,505 千円となり、差し引き 36,505 千円の収入不足となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、過年度分損益勘定留保資金 36,397 千円、当年度分消費税資本的収支調整額 108 千円を充当して補填しています。

(単位：千円)

年度	収益的収入	収益的支出	差 引	資本的収入	資本的支出	差 引
	27年度	159,947	129,300	30,647	0	36,505
26年度	162,922	190,009	△ 27,087	15,498	51,149	△ 35,651

(3) 一般会計歳入の状況

平成27年度一般会計の歳入決算額は9,118,892千円で前年度に比べ0.1%の増となっています。

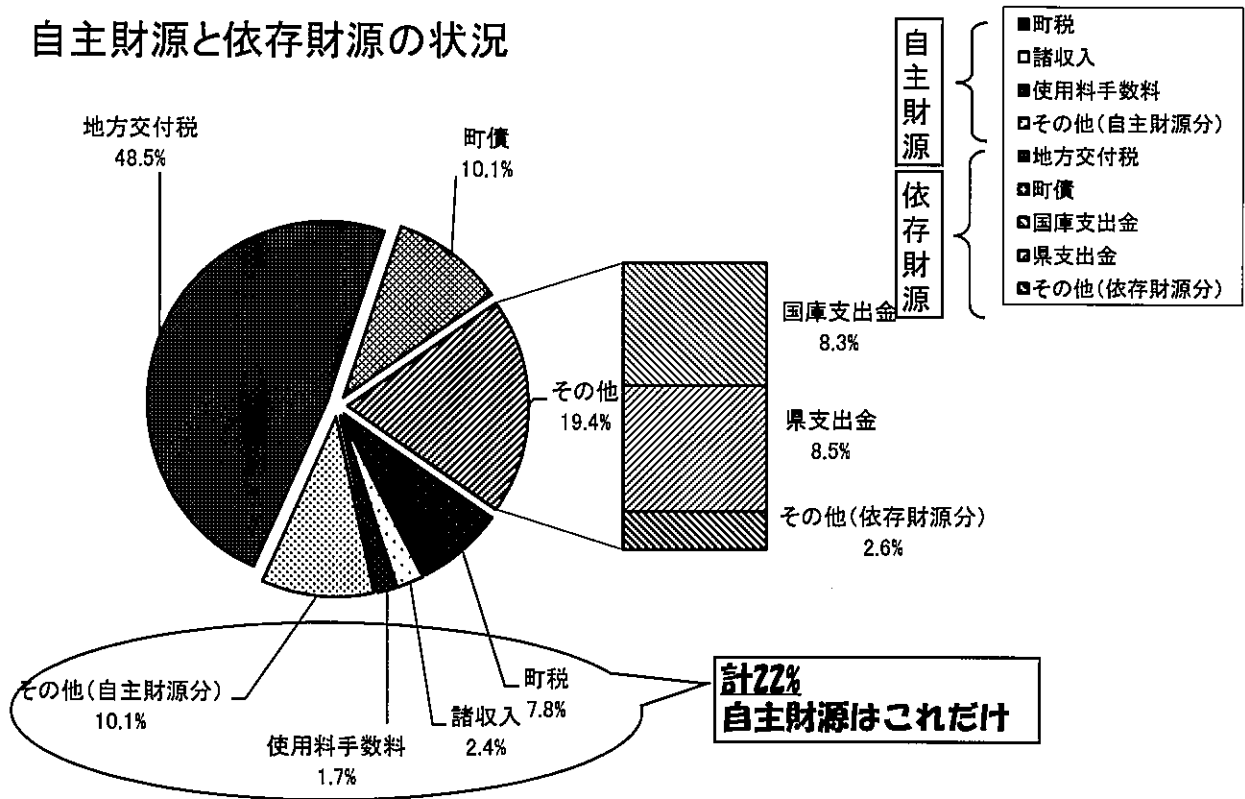
また、歳入を財源別にみると、自主財源(町税、使用料及び手数料、繰入金等)が1,999,067千円で22%、依存財源(地方交付税、国県支出金、町債等)が7,119,825千円で78%となっており、自主財源が前年度に比べ1.9%の減、依存財源が前年度に比べ2.1%の減となっています。

(歳入決算目的別内訳)

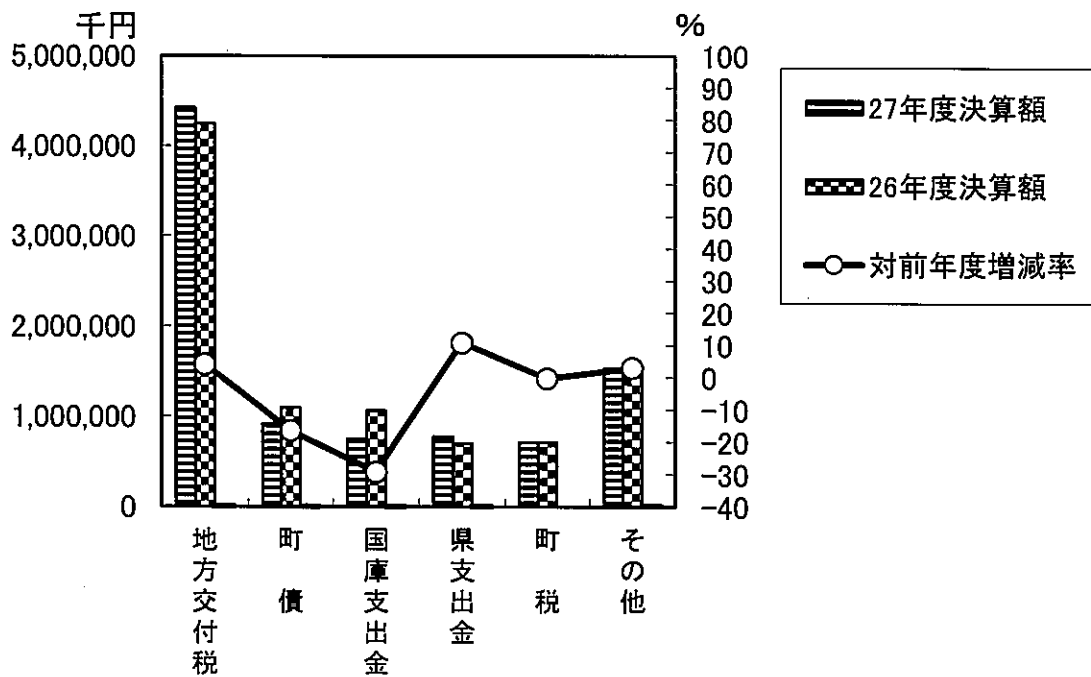
(単位:千円, %)

歳入区分	平成27年度		平成26年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 町 税	711,841	7.8	713,572	7.7	△ 1,731	△ 0.2
2 地 方 譲 与 税	55,256	0.6	52,871	0.6	2,385	4.5
3 利 子 割 交 付 金	1,070	0.0	1,204	0.0	△ 134	△ 11.1
4 配 当 割 交 付 金	2,123	0.0	3,444	0.0	△ 1,321	△ 38.4
5 株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	2,155	0.0	2,361	0.0	△ 206	△ 8.7
6 地 方 消 費 税 交 付 金	176,673	1.9	97,649	1.0	79,024	80.9
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	5,344	0.1	3,549	0.0	1,795	50.6
8 地 方 特 例 交 付 金	912	0.0	858	0.0	54	6.3
9 地 方 交 付 税	4,423,815	48.5	4,245,786	45.6	178,029	4.2
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,536	0.0	1,408	0.0	128	9.1
11 分 担 金 及 び 負 担 金	31,567	0.3	38,780	0.4	△ 7,213	△ 18.6
12 使 用 料 及 び 手 数 料	154,259	1.7	151,460	1.6	2,799	1.8
13 国 庫 支 出 金	752,560	8.3	1,064,130	11.4	△ 311,570	△ 29.3
14 県 支 出 金	777,681	8.5	701,541	7.5	76,140	10.9
15 財 産 収 入	44,559	0.5	41,209	0.4	3,350	8.1
16 寄 付 金	74,061	0.8	15,323	0.2	58,738	383.3
17 繰 入 金	175,201	1.9	342,243	3.7	△ 167,042	△ 48.8
18 繰 越 金	604,064	6.6	665,202	7.1	△ 61,138	△ 9.2
19 諸 収 入	203,515	2.4	69,738	1.0	133,777	191.8
20 町 債	920,700	10.1	1,100,645	11.8	△ 179,945	△ 16.3
歳 入 合 計	9,118,892	100.0	9,312,973	100.0	△ 194,081	△ 2.1

自主財源と依存財源の状況



平成27年度歳入決算対前年度比較



(4) 一般会計歳出の状況

平成27年度一般会計の歳出決算額は8,345,535千円で前年度に比べ2.8%減となっています。

また、歳出額を性質別にみると義務的経費(人件費, 扶助費, 公債費等)が3,414,302千円で40.9%, 投資的経費(普通建設事業費, 災害復旧事業費等)が1,807,406千円で21.6%, その他(物件費, 補助費, 維持補修費, 繰出金等)が3,123,827千円で37.4%となっており, それぞれ前年度に比べ1.5%増, 3%減, 1.2%増となっています。

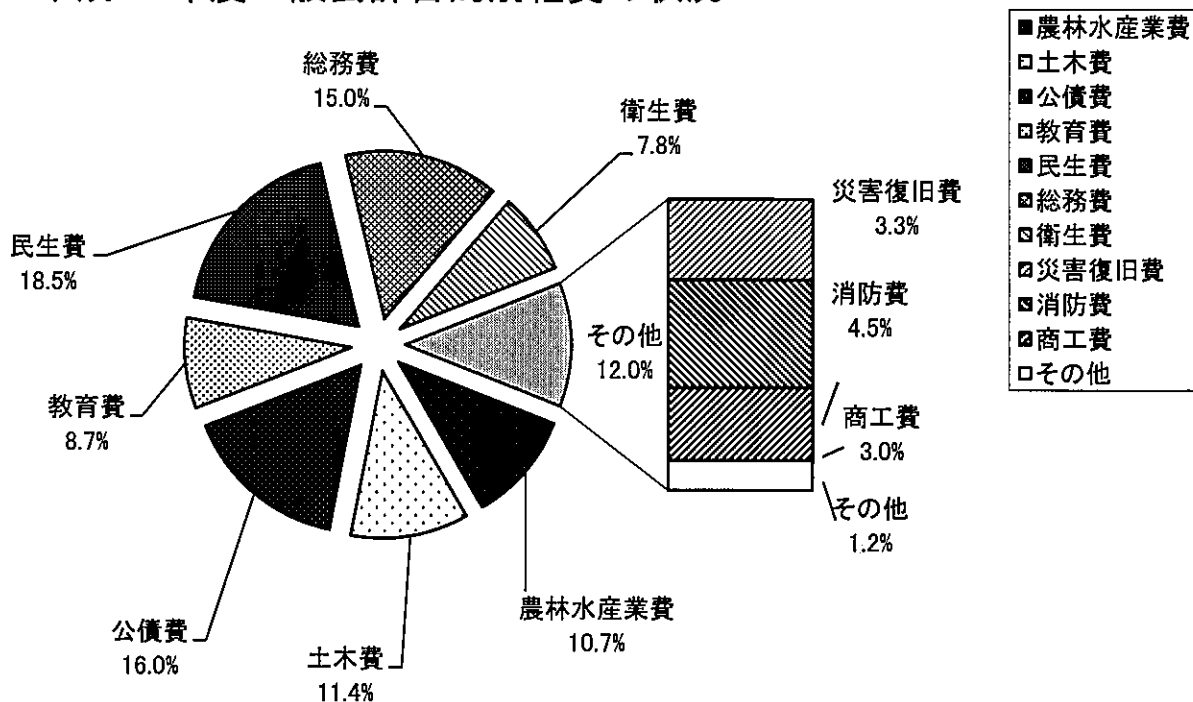
また、目的別の歳出額については下表のとおりとなっています。

(歳出決算目的別内訳)

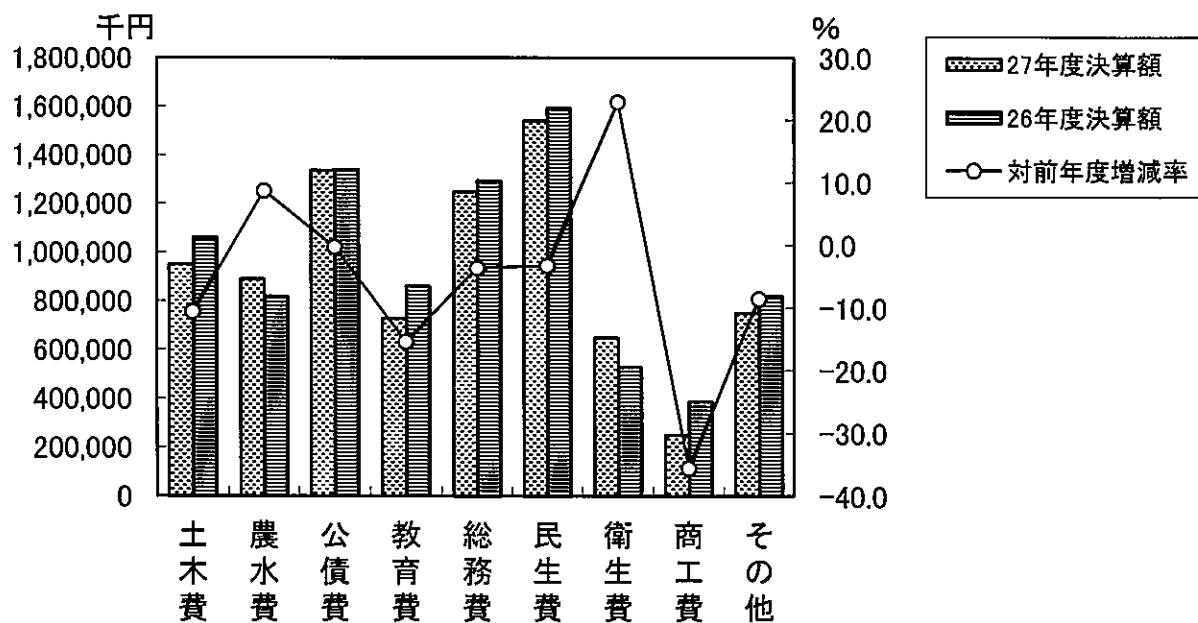
(単位:千円, %)

歳出区分	平成27年度		平成26年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 議会費	93,446	1.1	92,676	1.1	770	0.8
2 総務費	1,248,402	15.0	1,295,247	14.9	△ 46,845	△ 3.6
3 民生費	1,540,490	18.5	1,592,367	18.3	△ 51,877	△ 3.3
4 衛生費	649,416	7.8	528,401	6.1	121,015	22.9
5 労働費	8,719	0.1	7,914	0.1	805	10.2
6 農林水産業費	890,994	10.7	819,470	9.4	71,524	8.7
7 商工費	250,347	3.0	388,569	4.5	△ 138,222	△ 35.6
8 土木費	950,656	11.4	1,063,422	12.2	△ 112,766	△ 10.6
9 消防費	371,411	4.5	399,021	4.6	△ 27,610	△ 6.9
10 教育費	728,934	8.7	861,880	9.9	△ 132,946	△ 15.4
11 災害復旧費	276,636	3.3	302,523	3.5	△ 25,887	△ 8.6
12 公債費	1,336,084	16.0	1,339,276	15.4	△ 3,192	△ 0.2
13 諸支出金	0	0.0	18,144	0.2	△ 18,144	△ 100.0
14 予備費						
歳出合計	8,345,535	100.0	8,708,910	100.0	△ 363,375	△ 4.2

平成27年度一般会計目的別経費の状況



平成27年度歳出決算対前年度比較



(5) 町債の状況

町債は、道路や港湾施設等、住民が長期にわたって恩恵を受ける施設等の建設財源として、町が借り入れる長期借入金ですが、その借り入れ、償還の状況は次の通りとなっています。

町債の借り入れ、償還、現在高の状況

(単位:千円)

会計別	平成26年度 末現在高 A	平成27年度 発行額 B	平成27年度償還 額 C	平成27年度末 現在高 A+B-C
(一般会計)	11,194,696	920,700	1,239,248	10,876,148
(特別会計)	1,323,306	280,500	64,752	1,539,054
巡回診療	137,807		10,808	126,999
国保直診	0	0	0	0
船舶	21,029	245,900	998	265,931
上屋	24,553	0	1,424	23,129
農業集落排水	127,837	0	8,056	119,781
簡易水道	1,012,080	34,600	43,466	1,003,214
合計	12,518,002	1,201,200	1,304,000	12,415,202

上水道	696,407	0	35,044	661,363
-----	---------	---	--------	---------

2 平成28年度上半期財政運営のあらまし

平成28年度の補正予算を中心に上半期の財政運営状況を説明します。

(1) 予算の規模(繰越明許費は除く)

各会計の補正状況

(単位:千円)

会計別	平成28年度 当初予算額 A	9月までの補正 額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
(一般会計)	8,029,439	694,857	8,724,296	65.1
(特別会計)	4,633,833	38,147	4,671,980	34.9
巡回診療	296,190	△ 7,393	288,797	2.2
国保事業	1,790,396	1,766	1,792,162	13.4
国保直診	17,818	590	18,408	0.1
介護保険	1,457,206	82,122	1,539,328	11.5
後期高齢	110,756	1,831	112,587	0.8
屠畜場	1,911	0	1,911	0.0
船舶	599,935	8,286	608,221	4.5
上屋	2,576	165	2,741	0.0
農業集落排水	23,304	2,558	25,862	0.2
簡易水道	333,741	△ 51,778	281,963	2.1
合計	12,663,272	733,004	13,396,276	100.0

上水道事業	平成28年度 当初予算額 A	9月までの補 正額 B	現計予算 A+B
収益的収入	163,853	0	163,853
収益的支出	147,209	3,075	150,284
資本的収入	2	0	2
資本的支出	51,873	38,000	89,873

一般会計予算款別補正状況
(歳入)

(単位:千円、%)

会計別	平成28年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
町 税	700,350		700,350	8.0
地 方 譲 与 税	53,961		53,961	0.6
利 子 割 交 付 金	1,204		1,204	0.0
配 当 割 交 付 金	3,444		3,444	0.0
株式等譲渡所得割交付金	2,361		2,361	0.0
地方消費税交付金	130,827		130,827	1.5
自動車取得税交付金	3,549		3,549	0.0
地方特例交付金	912		912	0.0
地 方 交 付 税	4,038,964		4,038,964	46.3
交通安全対策特別交付金	1,500		1,500	0.0
分担金及び負担金	27,372	7,704	35,076	0.4
使用料及び手数料	160,319	86	160,405	1.8
国 庫 支 出 金	873,455	△ 36,588	836,867	9.6
県 支 出 金	525,815	161,126	686,941	7.9
財 産 収 入	37,848	204,900	242,748	2.8
寄 付 金	30,001	0	30,001	0.3
繰 入 金	80,460	△ 32,735	47,725	0.5
繰 越 金	1	504,377	504,378	5.8
諸 収 入	74,296	224,487	298,783	3.4
町 債	1,282,800	△ 338,500	944,300	10.8
合 計	8,029,439	694,857	8,724,296	100.0

(歳出)

(単位:千円、%)

会計別	平成28年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
議 会 費	88,999	1,194	90,193	1.0
総 務 費	988,618	442,987	1,431,605	16.4
民 生 費	1,431,906	47,368	1,479,274	17.0
衛 生 費	627,705	△ 14,713	612,992	7.0
労 働 費	9,197	△ 813	8,384	0.1
農 林 水 産 業 費	690,731	156,725	847,456	9.7
商 工 費	182,337	54,626	236,963	2.7
土 木 費	1,083,730	6,323	1,090,053	12.5
消 防 費	303,708	3,049	306,757	3.5
教 育 費	977,020	8,256	985,276	11.3
災 害 復 旧 費	131,124	△ 10,145	120,979	1.4
公 債 費	1,492,148		1,492,148	17.1
諸 支 出 金	2,216		2,216	0.0
予 備 費	20,000		20,000	0.2
合 計	8,029,439	694,857	8,724,296	100.0

(2) 予算の執行状況

平成28年度の上半期(4月1日～9月30日)までの各会計予算の収入及び支出状況は以下のとおりです。(繰越明許費は除く)

各会計予算の執行状況 (平成28年9月30日現在) (単位:千円、%)

会計別	歳 入			歳 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
(一般会計)	8,724,296	4,334,489	49.7	8,724,296	3,067,779	35.2
(特別会計)	4,671,980	1,468,611	31.4	4,671,980	1,906,490	40.8
巡回診療	288,797	86,796	30.1	288,797	139,368	48.3
国保事業	1,792,162	559,684	31.2	1,792,162	801,847	44.7
国保直診	18,408	3,175	17.2	18,408	5,678	30.8
介護保険	1,539,328	670,091	43.5	1,539,328	629,946	40.9
後期高齢	112,587	24,852	22.1	112,587	22,412	19.9
屠畜場	1,911	234	12.2	1,911	1,195	62.5
船舶	608,221	86,694	14.3	608,221	238,920	39.3
上屋	2,741	167	6.1	2,741	1,422	51.9
農業集落排水	25,862	5,495	21.2	25,862	7,373	28.5
簡易水道	281,963	31,423	11.1	281,963	58,329	20.7
合計	13,396,276	5,803,100	43.3	13,396,276	4,974,269	37.1

(単位:千円、%)

上水道事業	収 入			支 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
収益的収支	163,853	66,932	40.8	150,284	31,117	20.7
資本的収支	2	0	0.0	89,873	17,608	19.6

平成28年度一般会計の上半期の款別執行状況は次のとおりです。(繰越明許費は除く)

一般会計予算款別執行状況(歳入) (単位:千円、%)

科 目	予算現額	収入済額	収入率
町 税	700,350	401,000	57.3
地 方 譲 与 税	53,961	15,384	28.5
利 子 割 交 付 金	1,204	239	19.9
配 当 割 交 付 金	3,444	528	15.3
株式等譲渡所得割交付金	2,361	0	0.0
地方消費税交付金	130,827	91,472	69.9
自動車取得税交付金	3,549	2,658	74.9
地方特例交付金	912	1,180	129.4
地 方 交 付 税	4,038,964	3,042,093	75.3
交通安全対策特別交付金	1,500	0	0.0
分担金及び負担金	35,076	6,065	17.3
使用料及び手数料	160,405	71,148	44.4
国 庫 支 出 金	836,867	38,133	4.6
県 支 出 金	686,941	55,840	8.1
財 産 収 入	242,748	18,850	7.8
寄 付 金	30,001	28,618	95.4
繰 入 金	47,725	0	0.0
繰 越 金	504,378	504,378	100.0
諸 収 入	298,783	58,135	19.5
町 債	944,300	0	0.0
歳 入 合 計	8,724,296	4,335,721	49.7

一般会計予算款別執行状況(歳出) (単位:千円、%)

科 目	予算現額	支出済額	支出率
議 会 費	90,193	47,933	53.1
総 務 費	1,431,605	460,864	32.2
民 生 費	1,479,274	566,049	38.3
衛 生 費	612,992	219,894	35.9
労 働 費	8,384	3,934	46.9
農 林 水 産 業 費	847,456	241,481	28.5
商 工 費	236,963	124,135	52.4
土 木 費	1,090,053	288,629	26.5
消 防 費	306,757	156,805	51.1
教 育 費	985,276	311,167	31.6
災 害 復 旧 費	120,979	21,061	17.4
公 債 費	1,492,148	727,724	48.8
諸 支 出 金	2,216		0.0
予 備 費	20,000	0	0.0
歳 出 合 計	8,724,296	3,169,676	36.3

3 町有財産の状況

町有財産には公有財産、物品、債権及び基金が含まれますが、これらの町有財産の管理については条例や規則によってそれぞれの管理がなされています。その概要は以下のとおりです。

【一般会計】

i) 公有財産

(1) 行政財産

① 土地及び建物

(単位: m²)

区 分		土 地	建 物
本 庁 舎		2,771.76	4,315.83
その他の 行政機関	消 防 庁 舎	9,986.96	1,779.57
	その他の施設	275.94	0.00
公共用 財 産	学 校	120,218.28	40,797.00
	公 営 住 宅	54,564.44	37,754.85
	公 園	122,406.08	325.72
	その他の施設	176,294.93	30,304.08
計		486,518.39	115,277.05

(2) 普通財産

① 土地及び建物

(単位: m²)

建 物		
		2,310.60
土 地	宅 地	59,470.19
	田	3,480.00
	畑	13,164.19
	原 野	4,528,269.44
	山 林	6,854,431.82
	雑種地	81,700.96
	墓 地	78,817.90
	保安林	754,582.75
計		12,376,227.85

林 野	12,137,284.01
-----	---------------

(原野+山林+保安林)

② 有価証券 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
株 券	12,440

③ 出資による権利 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
出資証券	327,996

ii) 物 品

区 分	台 数
普 通 乗 用	6
普 通 貨 物	5
小 型 乗 用	12
小 型 貨 物	12
マ イ ク ロ バ ス	0
消 防 車	20
特 殊 用 途 車	12
大 型 特 殊 車	14
軽 (四 輪 貨 物)	30
軽 (四 輪 乗 用)	18
船 舶	3
原 付	3
合 計	135

iii) 基 金

(単位:千円)

区 分	現 在 高
財 政 調 整 基 金	預 金 現 金 1,116,336
地 方 債 管 理 基 金	預 金 現 金 330,000
高 額 医 療 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 2,774
	債 権 0
奨 学 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 10,008
	債 権 21,401
肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 18,907
	物 品 31,067
地 域 振 興 基 金	預 金 現 金 3,922
地 域 福 祉 基 金	預 金 現 金 955
ふ る さ と 水 と 土 保 全 基 金	預 金 現 金 10,000
教 育 振 興 人 材 育 成 基 金	預 金 現 金 1
青 少 年 育 成 基 金	預 金 現 金 207
公 共 施 設 維 持 管 理 基 金	預 金 現 金 126,494
土 地 開 発 基 金	預 金 現 金 27,591
	不 動 産 0
大 学 入 学 一 時 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 37,456
	債 権 6,285
ふ る さ と 応 援 基 金	預 金 現 金 55,293
特 別 産 業 振 興 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 10,914
特 別 水 産 業 対 策 基 金	預 金 現 金 10,000
特 別 肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 4,708
	物 品 5,299
酒 造 用 含 み つ 糖 生 産 対 策 補 給 基 金	預 金 現 金 2,900
災 害 対 策 準 備 基 金	預 金 現 金 1,093
計	1,833,611

【特別会計】

i) 公有財産

(1) 公有財産

① 土地及び建物

(単位:㎡)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	18,993.28	3,966.80

② 動 産

区 分	現 在 高
船舶交通事業会計	2隻(279.00ト)

(2) 行政財産

① 土地及び建物

(単位:㎡)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	18,993.28	3,966.80

ii) 物 品

区 分	現 在 高	
巡回診療会計	車 両	4台
	レントゲン	2台
計	6台	

iii) 基 金

(単位:千円)

区 分	現 在 高
国民健康保険基金	222
船舶建造基金	4,780
計	5,002